



## 多摩エコスタイルの第4期前半活動報告

まち協



区民祭に精力的に参加しています



ごみ分別ゲームに子どももチャレンジ!

### 多摩区エコスタイルプロジェクトについて

多摩エコスタイル（以下、「エコスタ」）は、多摩区にエコなライフスタイルを広め、子どもたちにより良い環境を引き継ぐことを目標として活動しています。区民の皆さまにもっとエコに対する意識を持ってもらいたいと思って、区内のイベントに参加したり講座を開催したりしています。

### 区民祭での取り組み「1日1エコ運動」

区民祭には毎年参加して、「1日1エコ運動」を提唱しています。これは皆さまが取り組んでいるエコを教えてもらうもので、他の方とも共有し、良いことはマネしよう!の精神で、誰でも参加できる形でエコライフに対する意識を向上する効果があると思います、実施しています。また、「ごみ分別ゲーム」もイベントなどで行っています。「混ぜればゴミ、分ければ資源」です。皆さまも正しい分別を行うようお願いします。



### 恒例の自主企画講座

自主企画講座としては、「ゴーヤの育て方講習会」を行いました。ゴーヤで緑のカーテンを作ると、エアコンばかりに頼らずに夏を過ごすことができます。「停電しないから電気は足りている」のではなく、電気の9割を火力発電で作っている今だからこそ、節電にみんなで取り組みましょう。「エコショッピング・クッキング」講座も2回行いました。毎日する買物や料理、後片付けがエコになれば大きい効果があります。自分で育てたゴーヤでエコクッキング!夏を元気に乗り越えられそうです。

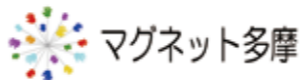
### 区内商店街と連携した新たな取り組み

このような普及活動を続けてきたエコスタですが、今年度新たに、商店街と連携して、まちの活性化&エコ活動推進の取り組みを始めました。商店街では意外とエコ活動に取り組んでいる店が多いことをアンケート調査で知りました。もっとエコを推進するには、お客さん（まちの皆さま）に協力してもらうことが必要で、どうしたらもっと参加してもらえるか、空き地を利用して楽しい活動ができないかなど考えています。

今年度は新たなメンバーも活動に参加してくれて、新しい発想や力を感じながら活動してきました。皆さまも一緒に活動しませんか?!



山下 博子代表



## マグネット多摩の第4期前半活動報告

まち協



葛生 茂代表

昨年8月13日、多摩区まちづくり協議会の新プロジェクトとして「マグネット多摩」が発足しました。

プロジェクトでは、区内で活動する市民活動団体の基本情報、イベント開催チラシ等をホームページ上に掲載し、利用する区民の皆さまがパソコンやスマートフォンでホームページにアクセスすることにより、いつでもどこでも団体のイベント情報等を取得できる「チラシギャラリー」サイトの作成及び公開に向け活動を始めました。

チラシギャラリーサイトの機能及び利用にあたっての利用規約等の検討作業を重ねてまいり、昨年12月26日、サイトを公開しました。現在37の団体(チラシ約90枚掲載)が利用登録し、また多摩区役所及び関連公益団体の利用も始まりました。今後とも、より多くの団体の皆さまの参加、及び区民の皆さまのご利用をお待ちしております。

併せて、より使いやすいチラシギャラリーサイトを目指し、皆さまからのご意見・ご質問も募集してまいります。

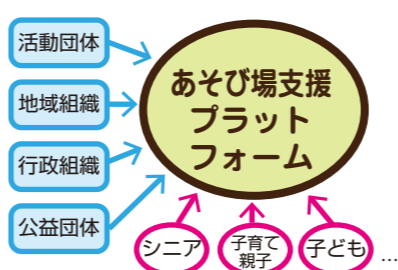
チラシギャラリーを紹介するチラシがあります



## たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～の第4期前半活動報告



田代 高是代表 平成26年11月、「たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～」プロジェクトが誕生しました。子どもたちの外あそび支援、シニアの地域デビュー支援、世代間交流を区内に広げたいと、子育て中のお母さんやシニアなど多世代の人たちが集まり、約半年にわたって話し合いました。この話し合いの結果がプロジェクトの誕生につながりました。このプロジェクトの活動イメージは左図の通りです。「たまむすび」の名称は、活動団体をはじめ色々な組織や子どもからシニアが結び合い、目標に向かって一緒に考えるプラットフォームをつくらうという意味を込めています。



主な活動として、3つあります。1つ目は、関連するさまざまな組織との連携です。その一つとして昨年12月に多摩区役所こども支援室と「コラボ検討会」(情報交換の場)を持ち、このような場の重要性を実感しました。2つ目は、子どもやシニアを取り巻く環境や状況調査です。そして3つ目は、実践です。今年度は、中野島こども文化センターの協力を得て、「焼き芋交流会」を行いました。焼き芋の他に、昔遊び、子ども体操、読み聞かせ、火起こし体験などに多くのシニアから支援をいただきました。老若男女約150人が参加しました。普段子どもたちができないことを体験し、それをシニアが手助けをし、見守るというプロジェクトが掲げる狙いの一つを実施できました。

誰もが遊びについていっしょに考え取り組むことができるプラットフォーム

- ＜たまむすびが目指すもの＞
- 活動団体とのネットワーク(あそび場支援プラットフォーム)形成
- ゆとりある活動(マンパワー不足の解消/経費節減/子どもも大人も楽しめる/活動の重複解消)
- 地域デビューの手助け ●人材育成とバンク
- 空地、休耕地など空間の活用等



エコクッキングでゴーヤチャンプルーとゴーヤつくだ煮を作りました



焼き芋交流会は大盛況!